地域から安心して療養できる施設やベッドをなくさないで

療養病床の廃止・削減と患者負担増に反対する請願

衆議院議長　殿　　参議院議長　殿　　月　　日

請願趣旨　政府は、今の通常国会に医療制度改革法案を提出しました。同法案には、入所介護や長期入院を担っている38万床の療養病床（介護療養病床13万床、医療療養病床25万床）を大幅に削減し、2012年度には介護療養病床は廃止、医療療養病床15万床にすることが盛り込まれています。

政府は、削減する23万床で療養している人々を介護施設や在宅に移すといっていますが、現在、特別養護老人ホームの待機者は全国で38万人を超えています。このままでは、地域から安心して療養できる施設やベッドがなくなり、さらなる「介護難民」「療養難民」を生み出すことになります。

また、法案には、高齢者の患者負担を大幅に引き上げることも含まれています。

高齢化の進行とともに、今後、独居や高齢者世帯の増加が予想されます。療養病床の廃止・削減や高齢者の患者負担増の法案は直ちに撤回し、医療・介護の環境整備・拡充を求めます。

請願事項

1 入所介護や長期入院を担う療養型病床の廃止・削減を行わないこと

2 高齢者の患者負担増（70～74歳　1割→2割、現役並所得者　2割→3割）や長期入院の食費・居住費負担増（月2.8万円増）をやめること

氏　名	住　所

※お名前、ご住所などの個人情報は、国会への請願以外には一切使用いたしません。

取り扱い団体